

釜石市中心市街地東部地区商業推進協議会開催結果

○日 時：平成27年2月13日（金）午後3：00～4：30

○場 所：釜石市役所第4庁舎第4会議室

○出席者：裏面のとおり

○次第

1. 市長あいさつ

2. 議事

(1)報告第1号 東部地区フロントプロジェクトと商業再建の状況について

- ・ 事業所の被災と再建状況について
- ・ フロントプロジェクトの進捗状況について
- ・ プレミアム商品券について
- ・ 釜石市民買物行動調査について

○結 果（要約）

《事業所の被災と再建状況について》

質疑等なし

《フロントプロジェクトの進捗状況について 主な意見》

- ・ 呑ん兵衛横丁は釜石の名物。店が埋まらなければ全国に募っても良い。
- ・ 地元の魚を活用する店など、バラエティのある飲食店を仕掛けることが必要だ。
- ・ 出店の初期費用を軽減する方策を考えてほしい。

《プレミアム商品券について 主な意見》

- ・ 前回、前々回の発行時には、小規模な商業者にあまりメリットがなかった。一部の大型店やコンビニも参加すれば、そこで使われて小売業には回ってこないのではないか。
- ・ 商品券の発行に合わせたセールなど創意工夫が大切だ。

《釜石市民買物行動調査について 主な意見》

- ・ 同様の調査を継続し、比較していくことが必要だ。

《その他 主な意見》

- ・ タウンポート大町は概ね好調。イオンの客が流入し、その逆もある。
- ・ タウンポート大町前の公園が完成する春先に何か仕掛けてはどうか。

第7回釜石市中心市街地東部地区商業推進協議会

【出席者名簿】

No.	所 属	職 名	氏 名
1	釜石商工会議所	会頭	山 崎 長 也
2	釜石市商店会連合会	副会長	佐々木 雅 昭
3	大渡町商店街振興組合	理事長	小笠原 順 一
4	大町商店街振興組合	理事長	新 里 耕 司
5	只越町商店街振興組合	理事長	片 倉 静 祐
6	浜町1丁目商業者	代表	加 藤 裕 二
7	釜石東部コミュニティ振興グループ	代表	齊 藤 裕 基
8	岩手県沿岸広域振興局	(副局長兼経営企画部長) 代理：産業振興課長	(西 村 豊) 竹 花 光 弘
9	イオンタウン釜石	モールマネージャー	及 川 和 之
10	釜石まちづくり株式会社	取締役事業部長	谷 澤 栄 一
11	釜石市	市長	野 田 武 則
12	〃	産業振興部長	渡 部 秀 幸

〔事務局〕

釜石市復興推進本部都市整備推進室	室 長	正 木 隆 司
〃 〃 リーディング事業推進室	主 任	菊 池 太 介
〃 産業振興部商工労政課	課 長	平 松 福 壽
	課長補佐	菊 池 俊 彦
	主 査	小笠原 弘 明
	主 任	酒 井 智 則

〔その他出席者〕

岩手県沿岸広域振興局経営企画部産業振興課	主 事	藤 村 駿 輔
----------------------	-----	---------

【協議会結果】詳細

○市長あいさつ

震災から3年11か月が経った。5年間の集中復興期間は来年度で一区切りとなるが、被災された皆さんはまだ仮設住宅にいる。復興住宅の建設もまだこれからであり、一日も早い復興に向けて努力していきたい。

フロントプロジェクト1では、昨年3月のイオン開店以来1年が経とうとしている。人出は多く、平日は厳しいが全体として目標に達しているのではないだろうか。タウンポート釜石も、一過性のものではなく多くの皆さんに来ていただきたい。飲食店街の再建に向けた動きも、本日の意見交換の中で方向性をつかみたい。

国が地方創生の政策を打ち出す中、東部地区の復興と同時に経済の活性化も図りたい。3月にはラグビーワールドカップ開催地の決定、6月には世界遺産登録の決定と、いろいろな動きにも合わせていかななくてはならない。

皆さんの御協力をいただきながら、市民の皆さんの期待に応えていきたい。

○議事

(1)報告第1号 東部地区フロントプロジェクトと商業再建の状況について

- ・ 事業所の被災と再建状況について
- ・ フロントプロジェクトの進捗状況について
- ・ プレミアム商品券について
- ・ 釜石市民買物行動調査について

- ・ 平松課長より説明

《事業所の被災と再建状況について》

質疑等なし

《フロントプロジェクトの進捗状況について》

山崎会長 再建する呑ん兵衛横丁（飲食店街）は、どのくらい出店の希望があるか。また、再建の規模はどれくらいか。

平松課長 希望者は決して多くはないが、「やりたい」と強く言う方はいる。概ね20軒程度での再建を考えている。正式な募集はまだ行っていないが、鈴子の飲食店街入居者では5～10軒ぐらいが意欲を示している。鈴子以外からの参加もあると思う。

谷澤委員 以前、アンケートを取った時は、70歳以上の経営者が多く「高齢だから厳しい」という感触だったが、最近になって基本計画の概要版を出してから「もう少しやってみるか」という気持ちになった方もいるようだ。冗談めかしてだが「ホテルフォルクローロの開業で1年間頑張って軍資金を稼いで、ぜひ新たな飲食店街に参加して」と話している。あとは金額など条件の問題ではないか。

- 山崎会長 釜石は呑ん兵衛横丁が名物だ。ぜひ20区画に入ってほしいが、どうしても埋まらなかったら、インターネットで全国に募ってはどうか。「規格外の魚などを活用した特徴ある店が1、2軒はほしい」と話していても地元の人誰も乗ってこないが、全国に募ればどうか。そのかわり、家賃を3年間タダにしても良い。釜石でも定置網で魚が揚がっており、その魚を活用する店がほしい。
- 及川委員 確かに新鮮な魚なのに流通に乗らないものがある。今は食に対する興味・関心が盛り上がっている。みんなが同じような店舗ではなく、バラエティのある飲食店を仕掛け、活性化することが必要だ。
- 竹花氏 市外の人を案内する機会が多いのだが、ホテルの近くに拠点があることが重要だ。立ち飲み屋など気軽な飲食店が内陸に比べて少ない。
- 小笠原委員 出店の初期費用を出せないという人が多いようだ。何とか軽減する方策を考えてほしい。
- 齊藤委員 震災前、呑ん兵衛横丁の通りには歴史的価値もあった。それが再建されることは釜石の振興につながる。そこにソフトランディングしやすい施策があれば、事業者も動きやすいのではないか。
- 片倉委員 呑ん兵衛横丁は釜石にとって必要だ。現在の経営者は高齢で営業が大変なので、オーナーとして経営し、若い人を店で働かせて新しい酒場の雰囲気になれば、若い客も来るようになるのではないか。
- 加藤委員 現在の飲食店は観光の目玉になっていないが、うまくやれば八戸の「みろく横丁」のように、市外から来た人が面白がって入る名物になる。今の仮設店舗の呑ん兵衛横丁は高齢のせいもあるが、賃借料ゼロのぬるま湯から出てシビアな世界に出るにはハードルが高いのではないか。仮設店舗を今更有料化するわけにはいかないのだろうが、再建先は初期費用を抑えて、店舗に金をかけずに始められるほうが良いだろう。
- 山崎会長 (仮設の) 呑ん兵衛横丁はいつまで存続するのか。
- 平松課長 鈴子の飲食店街をはじめ、仮設商業施設は平成29・30年度で段階的になくしていくが、完成後5年経過した平成28年頃から家賃の徴収も可能になる。維持管理に必要な費用を徴収するとか、徴収せずに維持管理をお願いするという考えもあり、これから検討する。
- 山崎会長 飲食店では若い後継者の育成も必要だ。説明会等への関心はどうか。
- 平松課長 意見交換会を開くと20～30軒は参加してくれる。新施設についてはまず事業者を募ってディベロッパーを探す。もし見つからなければ、補助金を活用した共同店舗など他の方法を考えたい。

《プレミアム商品券について》

- 平松課長 発行枚数は現時点で流動的だが、前回の発行時より販売数もプレミアムも2倍で検討している。

- 山崎会長 市内の商店街など全てで使用できるのか。
- 平松課長 希望をとって実施したい。金券など一部対象外となる商品を除き、何にでも使えるようになる。
- 山崎会長 実施すれば最終的な尻拭いは商工会議所に回ってくるが、ぜひ発行するべきだと考えている。会議所では担当課長を決めて、臨時職員も雇用する予定だ。
- 佐々木委員 前回、前々回の発行時には、小規模な商業者にあまりメリットがなかった。果たして地元の商業者にメリットがあったのか検討しないと、一部の大型店やコンビニも参加すれば、そこで使われて小売業には回ってこないのではないか。
- 平松課長 前回は発行額の約7割がスーパーに流れたようだ。
- 及川委員 数年前に同様の商品券が発行された時は、イオンモール下田（青森県おいらせ町）で店長をしていたが、「大部分をうちの店で使用するのではないか」と思った。しかし、「プレミアム商品券商品」を作るなど、商店をはじめ地域のみんなで盛り上げた結果、ほとんどがうちで使われたという感覚ではなかった。単に安く買えるということだけではなく、商品券の発行に合わせて創意工夫をすることが大切ではないだろうか。
- 佐々木委員 発行内容はまだ、検討の余地があるということか。
- 平松課長 商工会議所や商店街と打ち合わせしながら進めていきたい。

《釜石市民買物行動調査について》

- 片倉委員 30～40歳代の買い回り先で、小佐野地区の割合が高いのはなぜか。
- 平松課長 その年代は身の回り品の購入が多く、薬王堂やジョイスなどが入っているせいではないか。
- 新里副会長 買い回り先は、各年代ごとのデータがあるのか。
- 平松課長 ある。30～40歳代だけ掲載したのは、小学5年生の子供がいる家庭を対象に実施した県の調査の近似値として示すためだ。
- 谷澤委員 同様の調査は、室蘭工業大学が継続して行うのか。それとも市で実施するのか。続けて比較していくことが必要だ。
- 平松課長 定点観測を続けていきたいが、費用もかかる。うまい方法を考えていきたい。

《その他》

- 谷澤委員 タウンポート大町の状況について説明したい。昨年11月8日にプレオープンした。グループ補助金を活用し、9店舗中8店舗が被災事業者、残り1店舗は新規創業だ。工事に当たっては人件費や材料費の値上がりなどもあったが、施工業者の努力もあり、ほぼ予定通りの10月31日に竣工した。飲食店は土日に混み合うなど順調で、物販も元々の客に加えて遠方からも来客があり、新しい客がついている状況だ。当初は「イオンの隣で商売になるのか」とみられていたが、イオンが集めた客が流れ込んでおり、「コバンザメ商店街」として生き

残る方策になっているのではないか。今では「場所さえあればイオンの近くで商売をしたい」という人も増えている。タウンポート大町でイベントを開いても人がイオンに流れるなど大小こそあれギブ・アンド・テイクの関係になっている。イオン店内にタウンポート大町についての掲示もしてもらい、敵対ではなく一緒にやっている。

及川委員 今も寒い中、多くの客が来ている。春先には前の公園も完成して、開放的な空間になってくれるだろう。3か所あるイオンの出入口のうち、大町側から入る客はオープン時に15～16%だったのに、今では20%ぐらいに増えている。春になったら、何か仕掛けると良いと思う。